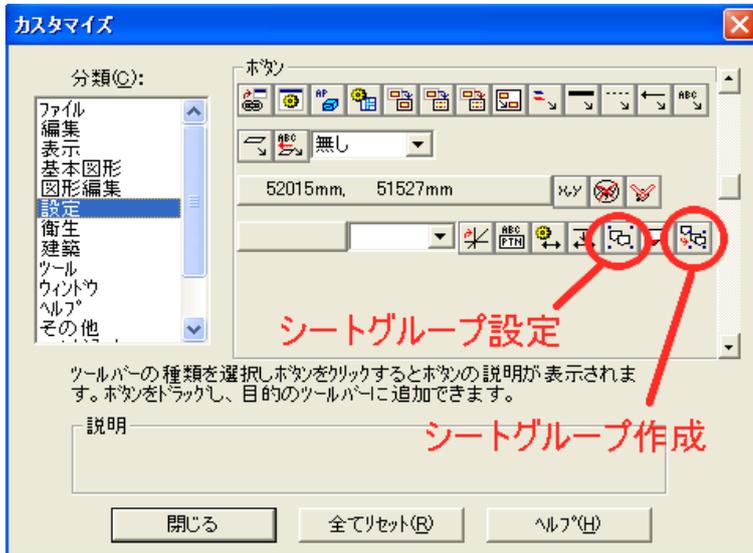


# CAPE2004 レイアウトシート作成手順 その1

## 準備

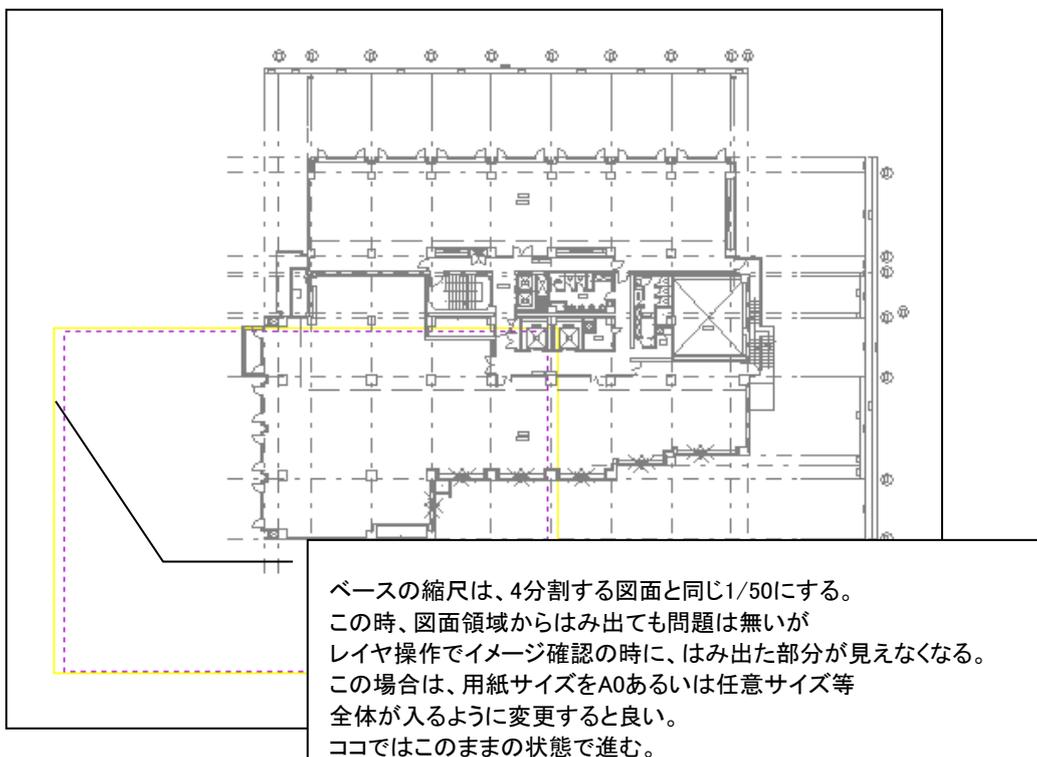
- ・ 作図する用紙サイズ、縮尺を決める。
- ・ 分割数を決め、その範囲も決める。
- ・ 図面枠の準備 (タイトル、日付、図面番号等)
- ・ キープラン、凡例等、図面の中で共通に使用する図の準備
- ・ レイアウトシート作成専用コマンドの確認  
以下のアイコンが有るか確認、無い場合は適当なところに追加する。



## 設定例

以下の平面図を例にして説明する。  
以下の図は、用紙サイズA1、縮尺1/100で全体図が入る。  
用紙サイズA1、縮尺1/50で施工図を作成する場合は、4分割の必要が有る。

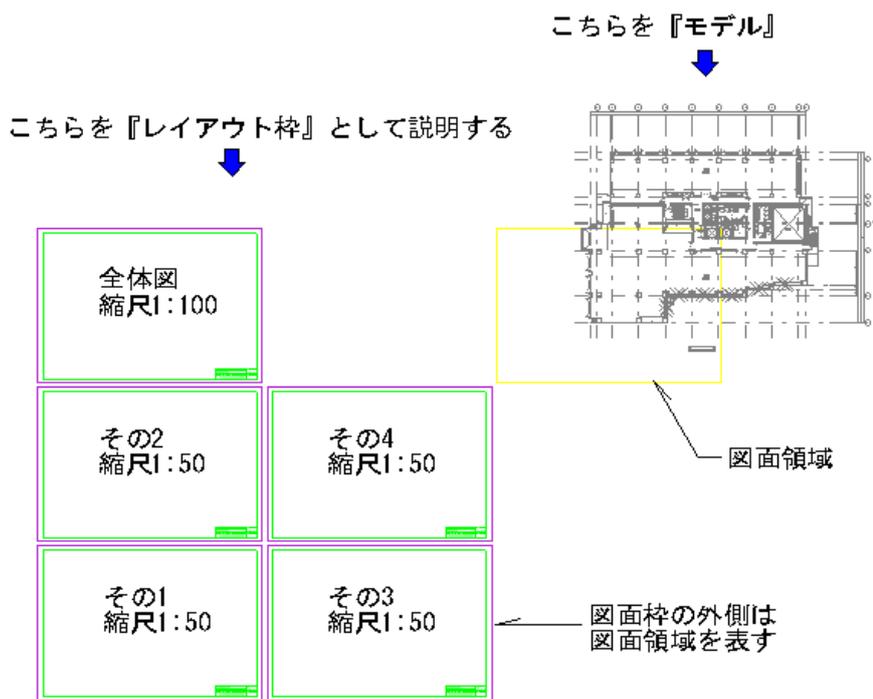
## STEP-1 ベースの図面の準備



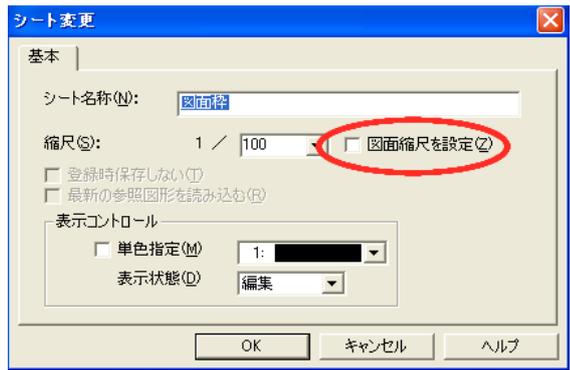
**STEP-2** 領域外（何処でも良い）に印刷するときの図面枠を下の例の用に配置する。この時の決まりは特に有りません。横一列でも縦一列でもOK  
但し、図面枠の外側に領域の範囲も入れること。  
(capeの図面を開いたときの黄色の枠部分に相当)

配置したらそれぞれの図面枠に図面タイトル、図面番号、日付、縮尺等を書き入れる。

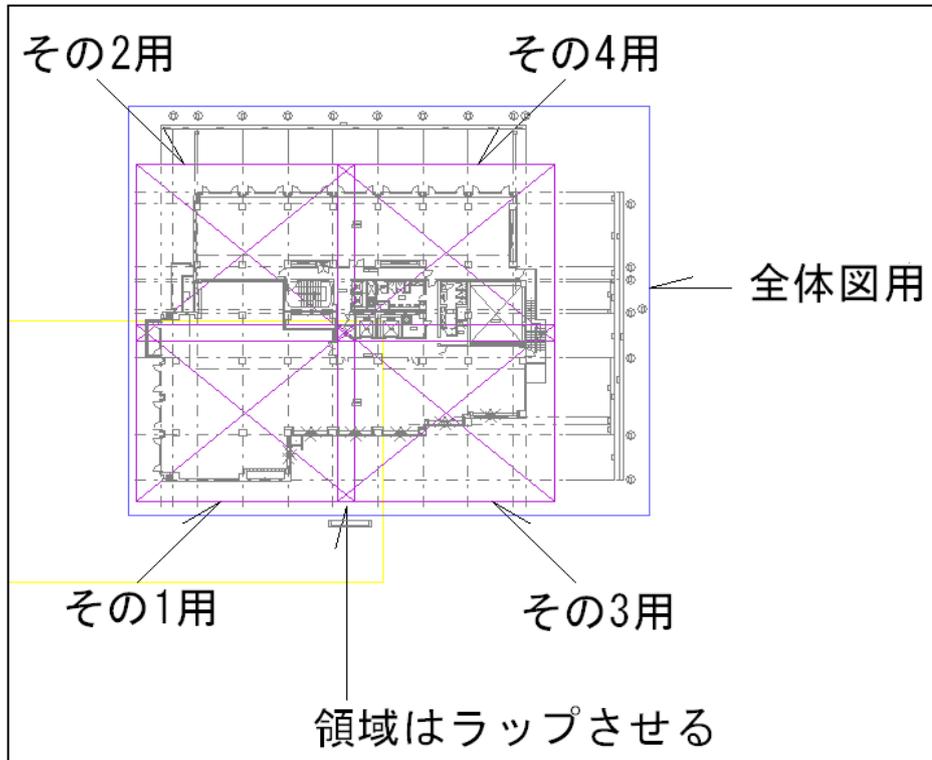
この時点でcapeのシートは『ベース』『建築図』『図面枠』等の用に作成して、それぞれのシートに移動させた方が操作性が良いと思う。



※図面枠を配置するときの注意  
シートのプロパティ  
『図面縮尺を設定』にチェックが入っていないことに注意  
  
又、図面領域の範囲を作図するときには  
図面枠のシートに作図すること

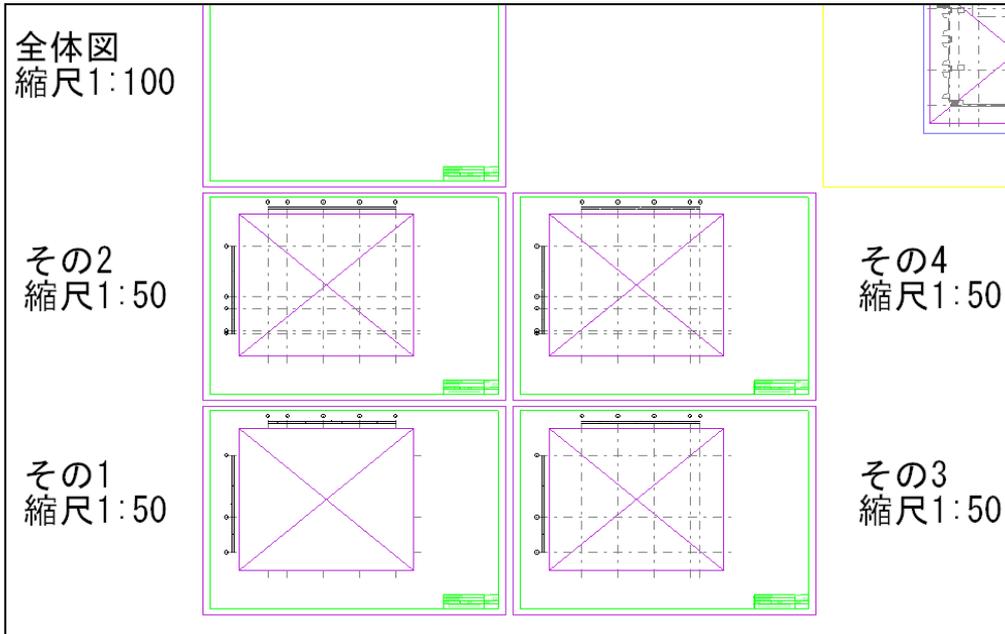


- STEP-3** モデルの方に分割する範囲を書き込む  
この時使う線は、分割後邪魔になるので専用のレイヤとして後で非表示に出来るようにする。  
全体図用は、通り芯番号も含める。  
その1～4用は、通り芯番号を除いて囲う。  
通り芯は、次のSTEP-4で作成する。



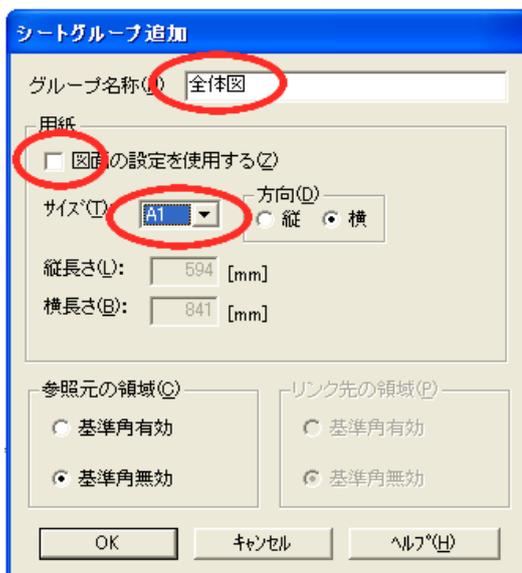
※その1～4用で囲んだ矩形の中の対角線は、解りやすくする為で特に必要無い

**STEP-4** レイアウト枠のその1～4の図面枠の中にモデルの方で作成した範囲と通り芯をコピーして、それぞれの通り芯に番号、寸法を書き込み整える。この時下図の『その1』のように範囲内の通り芯を削除する。  
 (通り芯が重なっても良いので有ればそのままでもOK)



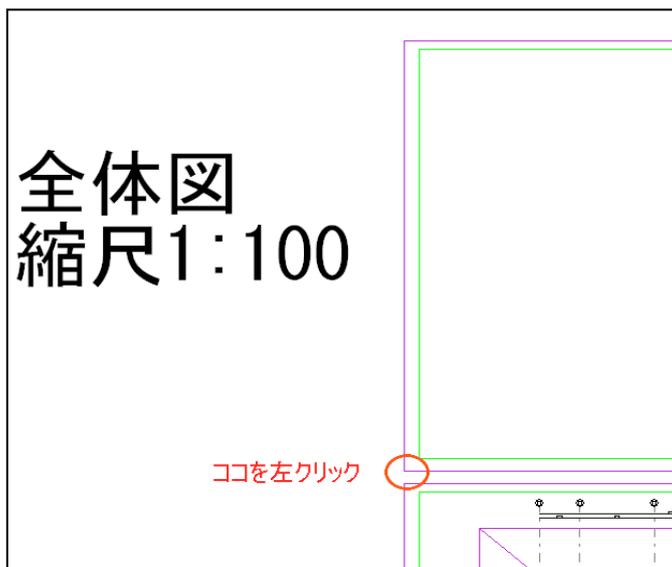
これで準備完了（ここまでが一番手間がかかる）  
 以降、説明が長いのですが一度理解すれば面倒では有りません

**STEP-5** 最初に『全体図』のレイアウトを設定  
 ①アイコンの『シートグループ作成』をクリック

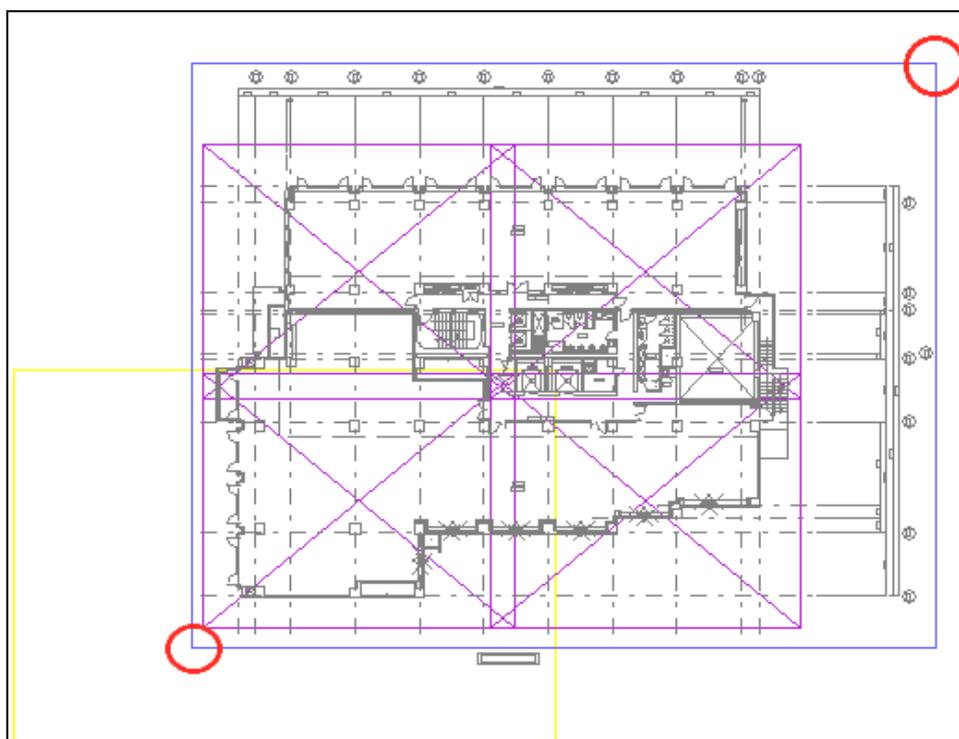


グループ名称『全体図』  
 用紙『A1』

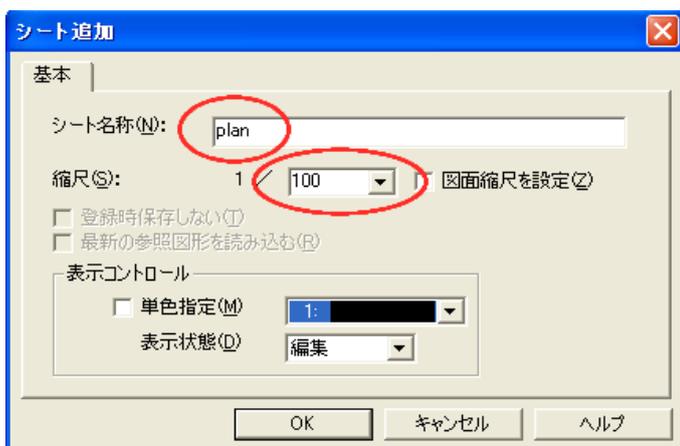
- ② 『レイアウトシートグループの用紙原点を入力してください』  
の操作説明の時に、レイアウト枠にある『全体図』の領域の  
左下をクリックする。下図参照



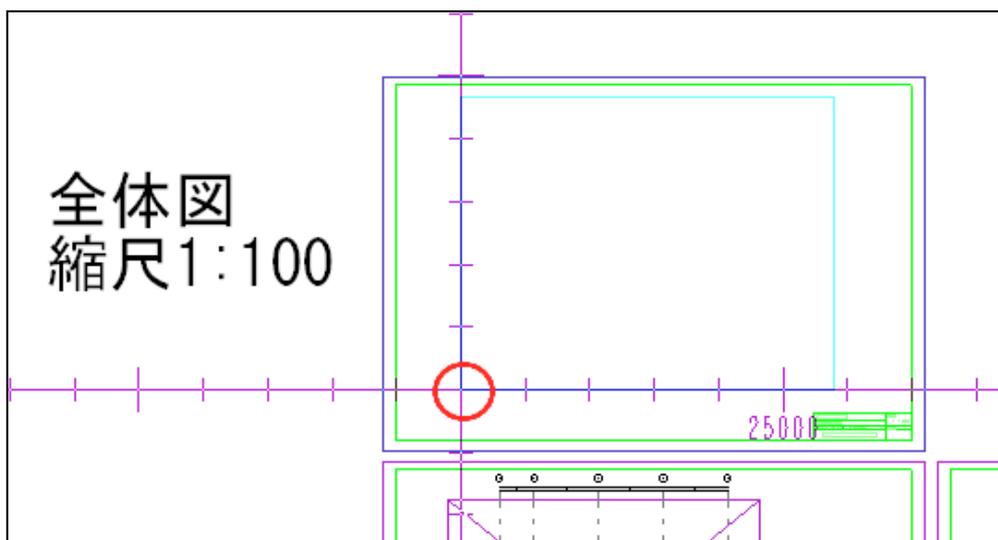
- ③ 『ビューポートシート参照元領域を指定してください。』  
の操作説明の時に、モデルにある『全体図用』の領域の  
範囲を対角にクリックする。下図参照



- ④上記の操作後に以下のボックスが表示される  
ココでは建築図なのでplanとした。  
又、用紙サイズA1に全体図を入れる為に縮尺を1/100とする



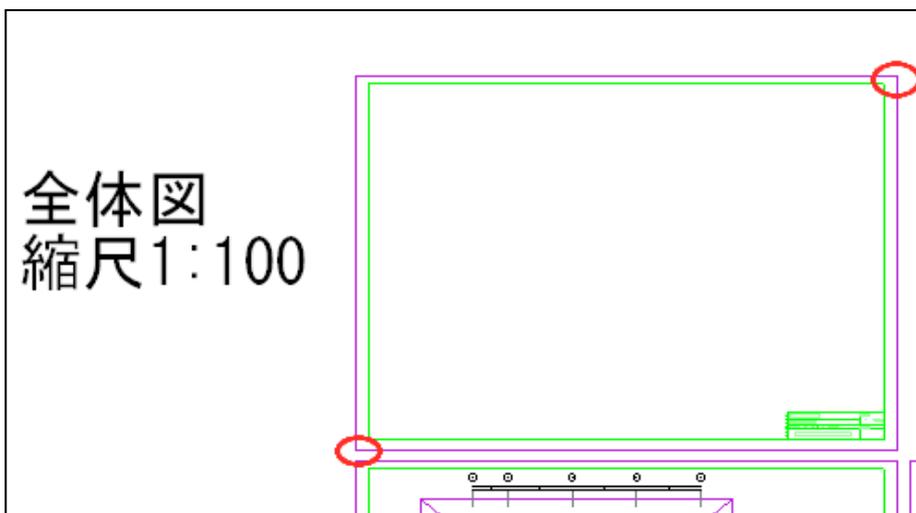
- ⑤『ビューポート配置基準点を入力してください』  
の操作説明の時に、レイアウト枠にある『全体図』の領域の中に  
全体が入るように任意の場所を指定する。下図参照  
(予め配置ポイントを決めておくと良い)



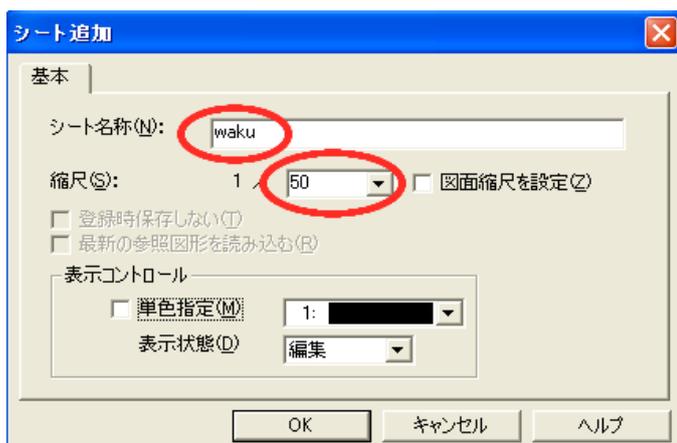
ココまでの操作で『全体図』のレイアウトが終了ですが、ここで終了すると  
図面枠のない図面になる。  
以下の操作でレイアウトの方にも図面枠を設定する必要がある。

以下⑥～⑧の操作は、上記③～⑤の操作の繰り返しになる。

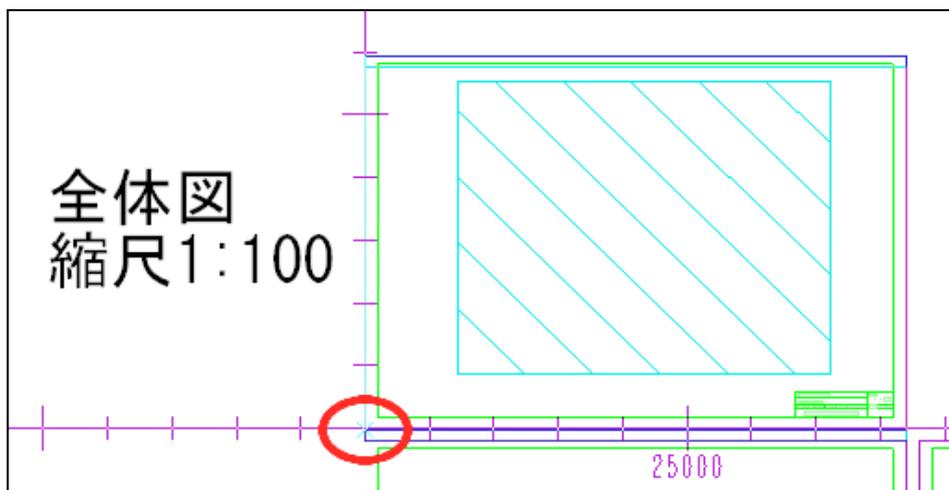
- ⑥『ビューポートシート参照元領域を指定してください。』  
の操作説明の時に、レイアウト枠にある『全体図』の領域の  
範囲を対角にクリックする。下図参照



- ⑦上記の操作後に以下のボックスが表示される  
ココでは図面枠なのでwakuとした。  
又、縮尺は、ベースの設定の縮尺1/50とする

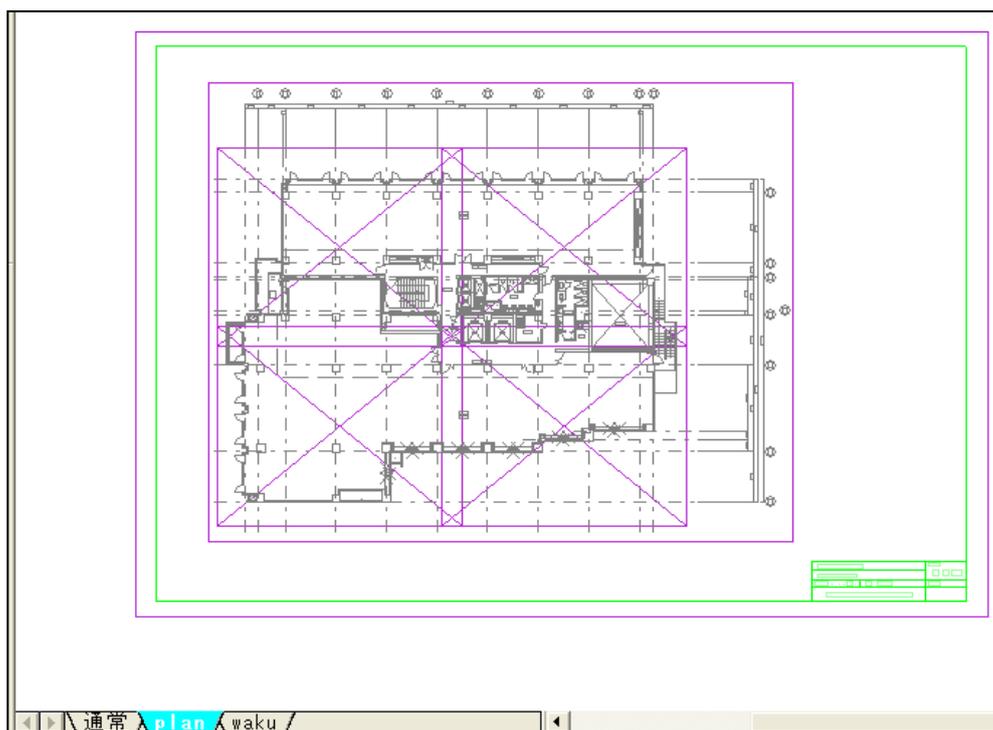


- ⑧『ビューポート配置基準点を入力してください』  
の操作説明の時に、レイアウト枠にある『全体図』の領域の  
左下を指定する。下図参照



Enter:作成終了  
以上で『全体図』の完成

シートグループの『全体図』をクリックすると下図の用になる

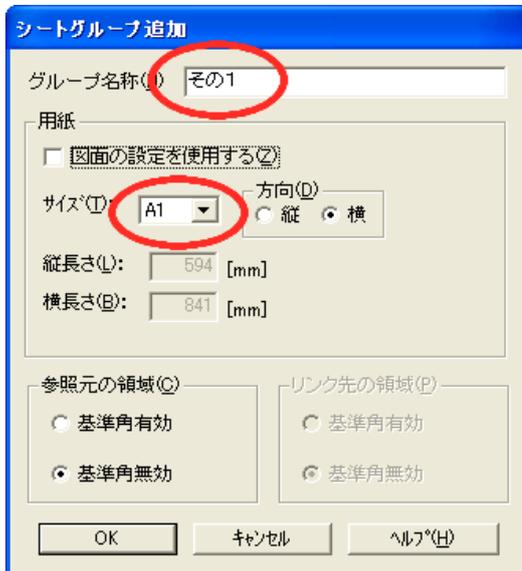


**STEP-6** 次に『その1』のレイアウトを設定

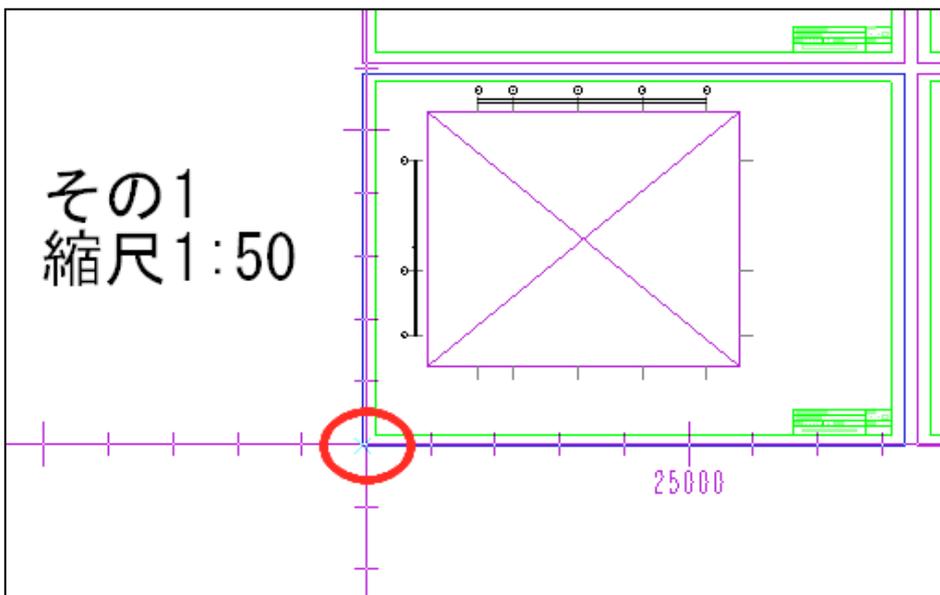
全体図の時と異なる点

- ・縮尺が全体図の時は1/100でしたが、今度はベースと同じ1/50
- ・全体図の時は、任意の場所に配置したが、今度は指定の位置に配置する。

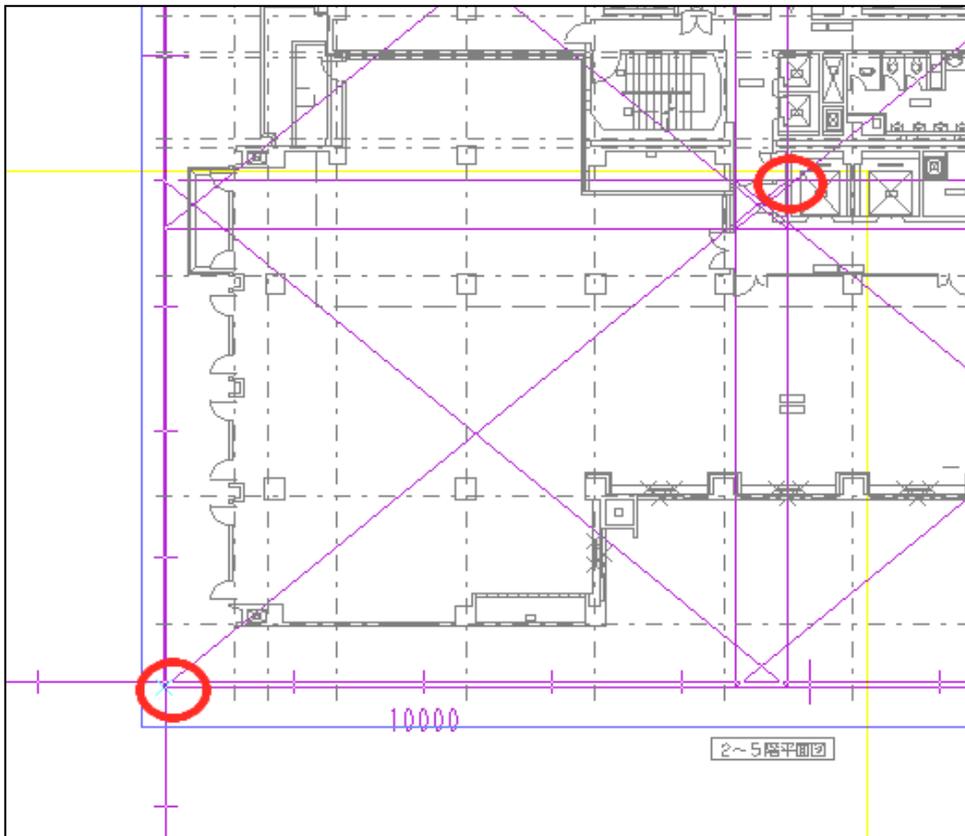
①アイコンの『シートグループ作成』をクリック



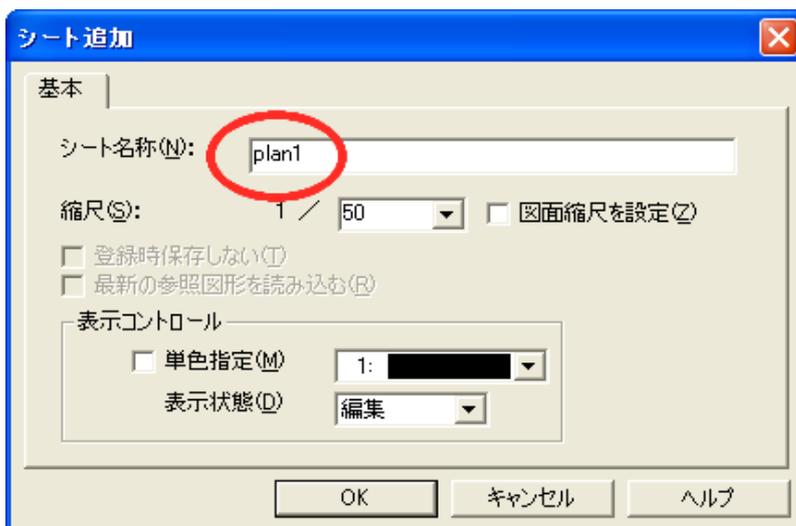
②『レイアウトシートグループの用紙原点を入力してください』の操作説明の時に、レイアウト枠にある『その1』の領域の左下をクリックする。下図参照



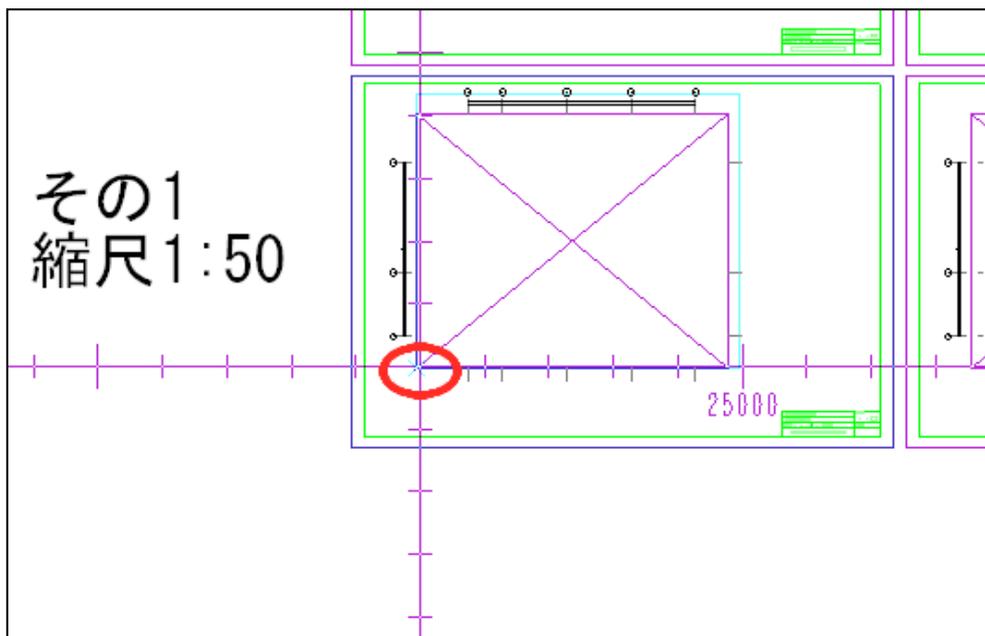
- ③『ビューポートシート参照元領域を指定してください。』  
の操作説明の時に、モデルにある『その1用』の領域の  
範囲を対角にクリックする。下図参照



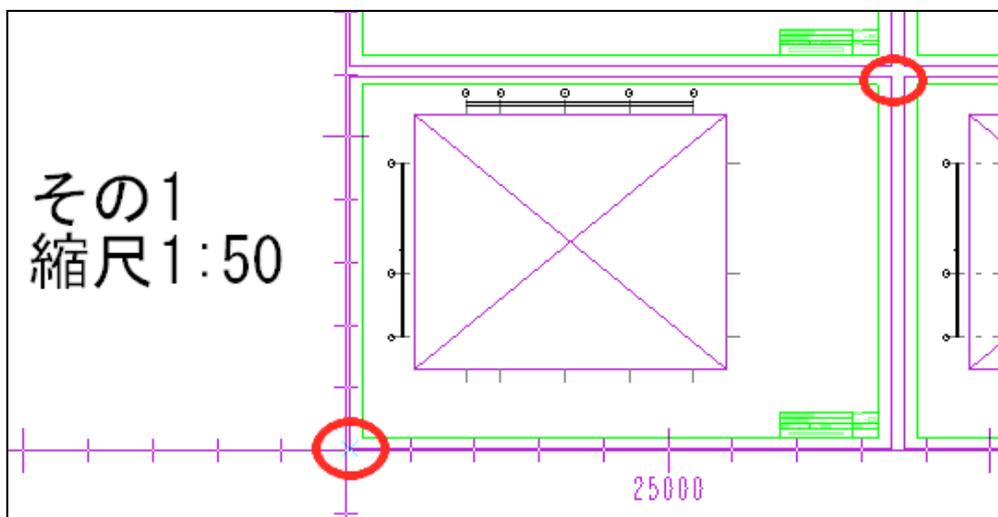
- ④上記の操作後に以下のボックスが表示される  
ココでは建築図なのでplan1とした。(同じ名前の使用は不可)  
又、縮尺は1/50のままとする



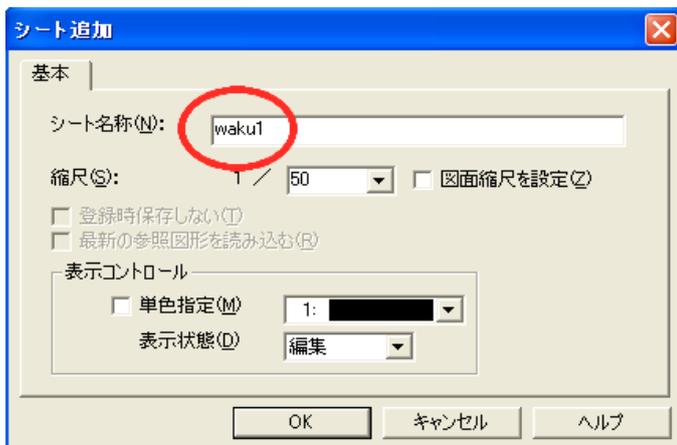
- ⑤ 『ビューポート配置基準点を入力してください』  
の操作説明の時に、レイアウト枠にある『その1』の領域の中の  
図面の範囲枠の左下をクリックする。下図参照



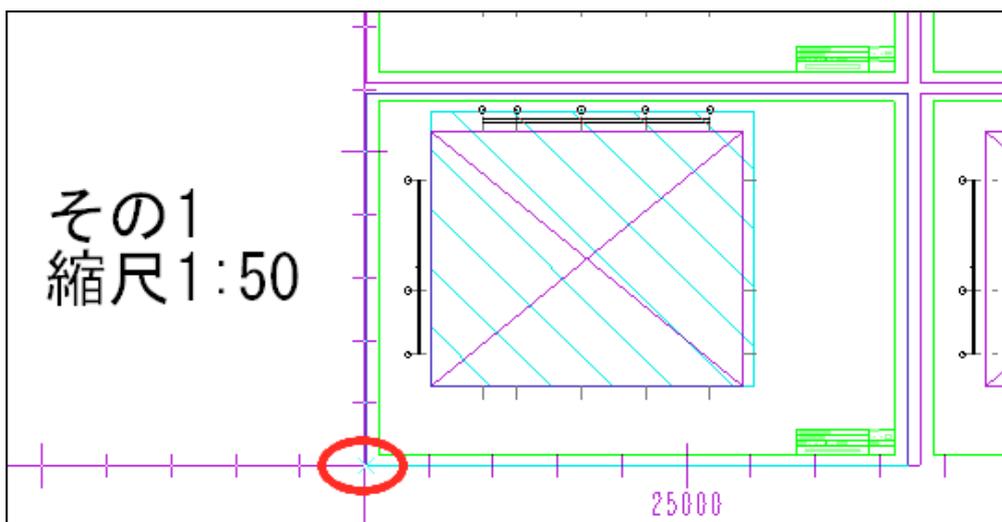
- ⑥ 『ビューポートシート参照元領域を指定してください。』  
の操作説明の時に、レイアウト枠にある『その1』の領域の  
範囲を対角にクリックする。下図参照



- ⑦上記の操作後に以下のボックスが表示される  
ココでは図面枠なのでwaku1とした。  
又、縮尺は、ベースの設定の縮尺1/50とする



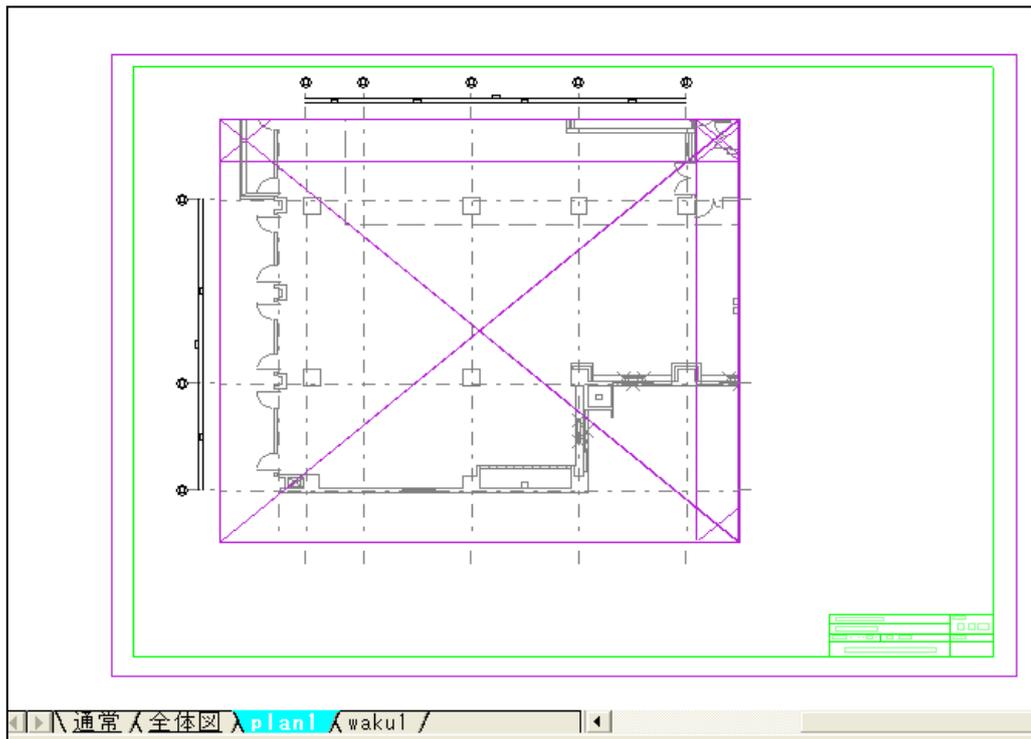
- ⑧『ビューポート配置基準点を入力してください』  
の操作説明の時に、レイアウト枠にある『その1』の領域の  
左下を指定する。下図参照



Enter:作成終了

以上で『その1』の完成

シートグループの『その1』をクリックすると下図の用になる



同様にして『その2』『その3』『その4』を設定してみてください。

ココで紹介した以外の設定方法も有ります。

これ以外の設定方法

- ・モデル(ベース)の方に図面枠を置かないで、作成したレイアウトシートに直接図面枠を貼り付ける。